第１回　岩手・宮城内陸地震に係る山地災害対策検討会　議事要旨

１　開催日時　平成２０年７月１２日（土）

２　開催場所　古川商工会議所会館（大崎市）

３　議事

（１）検討会規約等について

事務局より以下の提案があり、承認された。

・事務局より検討会規約（案）

・「荒砥沢ダム上流地すべり分科会」の設置

・検討会の公表のあり方について、①議事は非公開とすること、②議事内容は会議終了後の議事概要説明を行うこと、③議事要旨はホームページで公開すること

・８月末までに中間とりまとめを行うこと

（２）座長選出について

委員互選により、東北学院大学教養学部教授 宮城豊彦教授が選任された。

（３）概要

・岩手・宮城内陸地震と各地区の被害状況について

・意見交換

（４）委員の主な発言内容

・今回の山地災害は、火山帯、火山山麓の非常に脆弱な地質条件下で発生したものであり、地域ごとの地すべり、崩壊の特徴に大きな影響を与えたと考えられることから、特に、土質データの把握に重点を置く必要がある。

・河道閉塞の危険性を判断するためには、閉塞土砂の地質や高さ、閉塞長、貯水量、渓床勾配等の基礎的なデータの収集を行う必要がある。

・地震発生以降、航空写真、高精度衛星画像、レーザープロファイラ等のデータが蓄積されており、個々の災害箇所における現地調査結果と組み合わせることにより、潜在的な災害発生の危険性や、二次災害発生の兆候を把握することに役立つのではないか。